

丘小だより

文責:小寺博喜

今年度も残りひと月余りとなりました。今現在は、新型コロナウイルスやインフルエンザで学級閉鎖等をする事もなく、学校生活をおくる事ができています。しかし、児童が感染したり濃厚接触者になったりすることも時々あり、感染の心配が無くなったわけではありません。これまで通り基本的な感染対策を継続しながら、予定している残りの教育活動をしっかり実施していきます。

マスク着用に関して、国は、着用を推奨するケースを除き3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しています。そして学校教育の現場では新学期(4月1日)からマスクの着用を求めないことを基本とするとしています。今後、雲雀丘小学校でも、「**家族と相談しながらマスク着用について自分で判断していくこと**」、そして「**着用する人、着用しない人が混在する中であっても、互いを尊重し合う人権感覚・態度の大切さ**」を全校児童に伝えていきます。また、今春におこなわれる卒業式については、島根県教育委員会は「2m以上を目安とした距離の確保ができるか」「**式で声を出すかどうか**」という2点を基に判断するよう指示しています。ここ数年の卒業式では、校歌も含め式中での歌唱や、児童による呼びかけは、ほぼおこないませんでした。しかし、今年度は、**児童による呼びかけをおこない、国歌、校歌、卒業式の歌等を歌う**計画です。児童同士で2mの間隔をとることも困難なので、**今回の卒業式はマスクを着用しておこなう**予定です。卒業される6年生については、距離の確保などの工夫をして、マスクをせず、可能な限り素顔でおこなえるよう検討しています。



<学校目標>

自らかかわろう 自ら学ぼう

<教育目標>

自らかかわり 自ら学ぶ児童の育成

<めざす児童像>

自分力 自ら伸びようとする子

学ぶ力 自ら目標を立て学ぶ子

かかわる力 自らよりよい関係を築く子

むかし遊び体験を、1年生がおこないました。1月27日(金)に、地域の方々を講師にお招きし、むかしの遊びを紹介していただいたり、1年生の子供たちが実際に遊びを体験したりしました。竹トンボ飛ばしやコマ回し、お手玉遊び、タコ作りなど、今の子供たちにとってはどれも新鮮に感じられたのではないのでしょうか。右の写真はコマのヒモの巻き方を教えてもらっている様子です。**こう**



した活動を通して、子供たちが地域の方と触れ合えることを本当にうれしく思います。そして、地域で出会ったときに互いにおしゃべりができる関係づくりをこれからも目指していきたいと思ひます。ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



浜田市内の中学3年生と小学6年生(複式学級は5・6年生)に、卒業を祝う趣旨で「どんちっちノドグロ給食」が出されました。事前に、ノドグロが給食になるまでの動画を視聴しました。市水産振興課や浜田水産高校の生徒さんたちの協力があったことを知り、子供たちは感謝しながらノドグロをいただきました。浜田市ブランドのノドグロを給食でいただいたこと、そんな計らいをしてくれた**ふるさと浜田のことをいつまでも自慢に思っ**てほしいです。



全校朝礼では、「立春」をテーマに、子供たちに話をしました。季節の変化を感じるだけでも素晴らしいことですが、「春の始まり」からイメージを広げ自分に關する様々な「始まり」を意識してほしいです。

(ホワイトボードに掲示した「立春」の文字を指しながら)「立」は何と読みますか?(多くの児童が「たつ」と声を出して読みました)「春」は何と読みますか?(同様に多くの児童が「はる」と声を出して読みました) それでは、「立」と「春」を組み合わせたこの言葉を、何と読むか知っている人はいますか?(約半数の児童が手をあげました) 知っている人は自信をもって「立春」を読んでみましょう。知らない人も大丈夫です。今、何と読むのか知ればいいんです。せーの!!(「りっしゅん!」と声が響きました) そうです、「立春」は「りっしゅん」とよみます。



それでは、「立」「春」が組み合わさった「立春(りっしゅん)」から、みなさんはどんな、どんなイメージをもちますか?イメージなので、正解とか間違いとかはありません。自分がどんなイメージをもつか、なので安心して考えてくださいね。どんなイメージを持ちましたか。(数名が手をあげました) Aさんは、どんなイメージをもちましたか?(3年生のAさんは「私は、春になったイメージを持ちました」と答えてくれました) なるほど。Bさんはどんなイメージをもちましたか?(2年生のBさんは「春が始まる、という意味だと思います」と答えてくれました) Cさんはどうですか?(3年生のCさんは「今日から春だ、というイメージです」と答えてくれました) なるほどね。3人の友達が答えてくれたように、「立春」は「春になる」「春が始まる」「今日から春だよ」という意味があります。季節を分けるという意味の「節分」の日の翌日が「立春」になるそうです。今年の節分は2月3日だったので、立春は2月4日、この前の土曜日でした。「一年のまとめ」という言葉がたくさん聞かれるこの時期ですが、同時に、新しい春が、新しいスタートがもう始まっているんですね。ところで、みなさんの体や心も「立春」を迎えていますか。

なわとび集会在2月21日(火)におこなわれました。最初に、学年ごとに自分が決めた技を跳びました。学年が上になるほど高度な技で跳ぶ人が増え、ビュンビュンという音が体育館に響きました。長なわを使ったハの字跳びは、学年の部と、縦割り班の部がありました。5・6年生のハの字跳びは、まるで精密な機械のようにタイミングよく跳び続け、会場に驚きの声が広がりました。縦割り班の部では、本番で跳べた回数だけでなく、以前と比べて伸びた回数でも競い合いました。集会に向けて、登校直後や休み時間に練習をする児童の姿が多く見られました。集会は終わりましたが、引き続き体力づくりの一つとして取り組み続けてほしいです。



主な行事予定

《2月》

22日(水) 竹島の日、ALT 来校、委員会

23日(木) 天皇誕生日

24日(金) 計算会

《3月》

1日(水) 交通指導、ALT 来校

2日(木) 6年生を送る会

6日(月) 全校朝礼

8日(水) ALT 来校、委員会

15日(水) 安全点検、ALT 来校

16日(木) 卒業式前日準備

17日(金) 卒業証書授与式 ※給食なし

21日(火) 春分の日

22日(水) ALT 来校

23日(木) 給食終了

24日(金) 修了式、離任式

閉校記念事業実行委員会の設立に向けて、2回目の準備会が2月6日に開かれました。町内会や学校 PTA、地域から約20名もの方々が出席され、実行委員会設立の準備について協議しました。3月末には「雲雀丘小学校閉校記念事業実行委員会の発足式」をおこなう予定です。また、これとは別に閉校記念事業に協力できる旨を県外からわざわざご連絡くださった方もおられます。雲雀丘小学校に寄せてくださる皆様方の温かい想いに、心から感謝申し上げます。